

# 2人にちは



News from the city council

No.119

令和5年2月

# 豊前市議会です



カラス天狗祭りの式典の様子(10月30日開催)

10月臨時会(10/6) 11月臨時会(11/4)  
12月定例会(11/29~12/16)主な内容

目次  
CONTENTS

議案の概要・令和4年10月・11月臨時会議案審議結果・・・2~3P  
特別委員会の経過報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4P  
令和4年12月定例会議案審議結果・・・・・・・・・・・・5P  
一般質問・その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6~11P  
トピックス・編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12P



議会へのご意見をお寄せください

発行/豊前市議会 豊前市大字吉木955 TEL82-8137 (直通)

ホームページ/<https://www.city.buzen.lg.jp>

## 議案の概要

### 第5回臨時会

令和4年第5回臨時会は、10月6日の1日間の会期で開催されました。

臨時会には、市長より補正予算1件が提出されました。予算決算委員会で審査され、原案どおり可決されました。

### 第6回臨時会

令和4年第6回臨時会は、11月4日の1日間の会期で開催されました。

臨時会には、市長より補正予算1件が提出されました。予算決算委員会で審査され、原案どおり可決されました。

### 第7回定例会

令和4年第7回定例会は、11月29日から12月16日までの18日間の会期で開催されました。

本定例会初日に、市長より、条例案件6件、補正予算5件、その他案件6件の合計17件が提出されました。

それぞれ所管の常任委員会で慎重に審査され、原案どおり可決されました。

なお、議案第62号について反対と賛成討論がありました。

また、議員より意見書案1件が提出され、原案どおり可決されました。

### 選挙関係

一部事務組合議会議員に欠員が生じたため、補欠選挙が行われ、議長推選により選出しました。

(敬称略)

■豊前市外二町清掃施設組合  
議会議員

尾澤 満治

■豊前市外二町財産組合議会  
議員

福井 昌文

#### 【議案第46号】(第5回臨時会)

#### 令和4年度豊前市一般会計補正予算(第6号)

国庫補助事業にかかる経費(補正額303,357千円)について、電力・ガス・食糧品等価格高騰緊急支援給付金事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業の提案を受け、可決しました。

#### 【議案第47号】(第6回臨時会)

#### 令和4年度豊前市一般会計補正予算(第7号)

国庫補助事業及び県補助事業にかかる経費(補正額112,124千円)について、地域公共交通事業者支援金、社会福祉施設等物価高騰対策重点支援金、社会福祉施設等物価高騰対策支援給付金、保育施設等光熱費高騰支援事業補助金、麦作支援補助金、物価高騰対策工一券事業の提案を受け、可決しました。

## 令和4年10月・11月臨時会 議案審議結果

「○」………… 賛成 「●」………… 反対  
「議長」…… 議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	梅丸	村上	為藤	内丸	秋成	郡司	黒江	平田	福井	鎌田	岡本	尾澤	爪丸	賛成	反対
			晃	勝二	直美	伸一	英人	八千代	哲文	精一	昌文	晃二	清靖	満治	裕和		
議案第46号	令和4年度豊前市一般会計補正予算(第6号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第47号	令和4年度豊前市一般会計補正予算(第7号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0

# 《令和4年度一般会計補正予算の概要》

12月定例会では、11月29日と12月14日の予算決算委員会で「令和4年度一般会計補正予算」の審査を行いました。委員会では、予算の細部にわたり執行部に質問や指摘などを行い、慎重に審査しました。

## 【議案第50号】 令和4年度豊前市一般会計補正予算(第8号)

特に措置する必要がある経費について、可決しました。

◇人事院勧告による増額、異動等による組替え	22,791千円
◇退職手当	31,408千円

## 【議案第63号】 令和4年度豊前市一般会計補正予算(第9号)

国庫補助事業及び県補助事業の確定、その他特に借置する必要がある経費について、可決しました。

《主な事業》

◇生活困窮者自立支援金事業	2,700千円
◇生活保護扶助費	13,584千円
◇老朽危険家屋等除却促進事業補助金	1,500千円
◇農業次世代人材投資事業交付金	1,230千円
◇観光客受入環境整備事業	1,114千円
◇地域おこし協力隊活用事業	941千円
◇道路補修費	4,000千円
◇学校管理費(小学校)	14,630千円
◇学校管理費(中学校)	3,860千円
◇農業用施設災害復旧費	5,000千円
◇林業施設災害復旧費	2,500千円

## 【意見書案第6号】

### 同性婚の法制化に関する議論の促進を求める意見書

政府は同性婚について、現行の憲法において想定していないとし、現時点では検討も行っていないという見解を表明している。

わが国には、すでに同性のカップルが人生を共にし、結婚に相当する生活を営んでいるが、同性婚がないため、共に築いた財産の相続も他人と同じ扱いになっており、これらは地方自治体に広がる「パートナーシップ制度」では解決できない。性的少数者に対する理解がなかった憲法制定時には同性婚は想定されていなかったが、現在では社会的理解も進み、裁判所や政府が同性カップルを事実婚と同様に扱う事例もあらわれている。

よって、同性婚の法制化に関する議論を促進し、早期に結論を示すことを国へ強く要望しました。

## 予算決算委員会の 申し入れ事項

◎光熱水費高騰に対応するため、公共施設への太陽光パネルの設置など、再生可能エネルギーへの転換を積極的に検討すること。また、現状の取組に加え、更なる節電等に努めること。

以上、申し入れました。

## 常任委員会・議会運営委員会の委員名簿

◎……委員長 ○……副委員長

総務委員会	◎黒江哲文○平田精一・梅丸晃・村上勝二・為藤直美・内丸伸一・岡本清靖
文教厚生委員会	◎為藤直美○梅丸晃・村上勝二・秋成英人・郡司掛八千代・鎌田晃二・尾澤満治
産業建設委員会	◎秋成英人○福井昌文・梅丸晃・村上勝二・為藤直美・内丸伸一・郡司掛八千代
予算決算委員会	◎福井昌文○村上勝二・為藤直美・内丸伸一・秋成英人・郡司掛八千代 ・黒江哲文・平田精一・鎌田晃二・岡本清靖
議会運営委員会	◎岡本清靖○為藤直美・梅丸晃・村上勝二・黒江哲文・鎌田晃二

# 第16回新型コロナウイルス対策特別委員会の経過報告

特別委員会は、10月25日に開催され、執行部より、感染状況・新型コロナウイルスワクチン接種の現状・地方創生臨時交付金事業について説明がありました。また委員からもいろいろな意見がありました。主なものは以下のとおりです。

## ◎新型コロナワクチン接種率

(10月23日現在)

豊前市	1回目	2回目	3回目	4回目	オミクロン株
75歳以上	97.85%	97.39%	94.48%	84.67%	1.57%
65～74歳	90.64%	90.59%	88.10%	75.73%	3.61%
50～64歳	92.08%	91.90%	84.54%	28.39%	17.93%
18～49歳	80.53%	80.01%	61.66%	8.28%	8.55%
12～17歳	75.02%	74.70%	43.03%	0%	0.08%
5～11歳	24.28%	23.19%	0%	0%	0%
合計	84.21%	83.82%	72.40%	38.19%	7.07%

- 新型コロナウイルスに感染したあとの後遺症について、市内の後遺症外来等を把握していれば市報に掲載するなどの対策をとってもらいたい。
- ワクチン接種後の重い副反応について、かかりつけ医や病院等が判断して対応すると思うが、症状があっても相談しやすい仕組みづくり、救済制度については病院との連携を行い、その活用方法や手続きのサポートをお願いする。
- 後遺症や副反応について不安を持っている市民へ、しっかりとした説明や情報提供が必要である。

# 豊前開発環境エネルギー株式会社調査特別委員会の経過報告

特別委員会は、豊前市が出資している第3セクター「豊前開発環境エネルギー株式会社」役員が有印文書偽造により逮捕された事件について、会社の事業内容や事件発生の経緯を調査するものです。委員会の内容は、以下のとおりです。

## 第4回(10月6日開催)

新たに執行部が入手した決算に関する資料の説明がありましたが、豊前開発環境エネルギー株式会社からの説明がないため、詳しい内容がわかりませんでした。そのため、次回開催される委員会に同社取締役2名を参考人招致し、刑事事件4件の経緯、豊前市が要求した覚書変更に応じなかった理由、決算の詳しい内容等の説明を求めることが、全会一致で決定しました。

## 第5回(10月17日開催)

参考人招致をした役員2名が欠席したため、今後の委員会の進め方について議論を行いました。その結果、豊前開発環境エネルギー株式会社の事業内容の説明及び関連施設の現地視察を文書で依頼し、日程調整を行うことを確認しました。

## 第6回(11月4日開催)

前回の委員会後、豊前開発環境エネルギー株式会社へ送付した事業内容の説明及び関連施設の現地視察の依頼文書に対する回答文書について事務局から説明を行いました。また、執行部より令和2年度決算に関する資料の提出があり、説明を受けました。

## 第7回(12月8日開催)

委員長である爪丸裕和議員の死去に伴い、本会議で新たな委員として尾澤満治議員が指名され、委員長の互選が行われました。その結果、尾澤満治議員が委員長に選任されました。

# 令和4年12月定例会 議案審議結果

「○」…… 賛成 「●」…… 反対  
「議長」… 議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	梅丸 晃	村上 勝二	為藤 直美	内丸 伸一	秋成 英人	郡司掛 八千代	黒江 哲文	平田 精一	福井 昌文	鎌田 晃一	岡本 清靖	尾澤 満治	爪丸 裕和	賛成	反対
議案第48号	豊前市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	議長	欠席	10	0
議案第49号	豊前市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	議長	欠席	10	0
議案第50号	令和4年度豊前市一般会計補正予算(第8号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	議長	欠席	10	0
議案第51号	令和4年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	議長	欠席	10	0
議案第52号	令和4年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	議長	欠席	10	0
議案第53号	豊前市職員の定年等に関する条例等の一部改正等について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	-	11	0
議案第54号	豊前市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	-	11	0
議案第55号	豊前市職員退職手当支給条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	-	11	0
議案第56号	豊前市関係人口交流拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	-	11	0
議案第57号	指定管理者の指定について(豊前市道の駅「豊前おこしかけ」)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	-	11	0
議案第58号	指定管理者の指定について(求菩提キャンプ場)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	-	11	0
議案第59号	指定管理者の指定について(畑冷泉館及び冷泉茶屋)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	-	11	0
議案第60号	指定管理者の指定について(林産物処理加工施設及び林産物展示直売施設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	-	11	0
議案第61号	指定管理者の指定について(農林水産物集出荷貯蔵施設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	-	11	0
議案第62号	指定管理者の指定について(豊前市獣肉処理加工施設)	原案可決	○	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	議長	-	8	3
議案第63号	令和4年度豊前市一般会計補正予算(第9号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	-	11	0
議案第64号	令和4年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	-	11	0
意見書案第6号	同性婚の法制化に関する議論の促進を求める意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	-	11	0



議長  
尾澤 満治



副議長  
郡司掛 八千代

## 議会からのお知らせ

議事運営上

議長・副議長は、原則として一般質問を行いません。

# 一般質問

そこが聞きたい  
なんとかかしたい

## 『無党派』の一般質問

### 【質問項目】

(梅丸晃議員)

#### 循環型社会の構築として

- ① ふるさと納税
- ② 観光振興による  
域内経済循環
- ③ 国産リン生産による  
資源の循環

### 【質問項目】

(為藤直美議員)

- ① 市民参画の町づくりを
- ② 市有地、老朽化施設
- ③ パートナーシップ制度

### 【質問項目】

(村上勝二議員)

- ① 市長の政治姿勢
- ② 市民のいのちとくらしを  
守るために

※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。  
※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ」である調に統一しております。  
詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。  
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いてありますので、お気軽にご覧ください。

市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

## ふるさと納税について



梅丸 晃

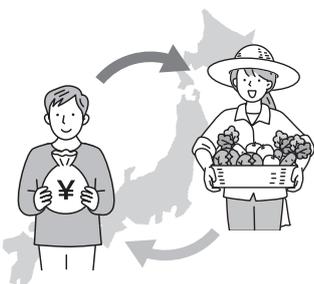
トと返礼品事業者の関係を密にし、情報交換や商品開発の連携強化に努める。

梅丸議員 ポータルサイトや代行事業を地域おこし協力隊の活用や豊前市内の企業または外郭団体に運営を任せてみてはと考えるが如何か。

総合政策課長 将来的には、地域おこし協力隊など、熱意ある人材の確保を含め、市内でまちづくりや地域の活性化に取り組みする法人などに引き継ぎ、アウトソーシングをしたいと考えている。

梅丸議員 今年の6月議会の一般質問で提案をした旅先納税・地域通貨について、その後、どのように取り組んでいるのか。

総合政策課長 旅先納税の運営業者と数回オンラインで打ち合わせを行ったが、初期投資や固定費、手数料で年間数百万円の費用が必要になる。この費用を旅先納税で回収することは、非常に厳しいと考える。また、地域通貨の取り組みも併せて、関係課等と協議



をしたいと考えている。

梅丸議員 豊前市は寄付金の使途に8つの事業を掲げているが、もっと事業内容を絞り込んでみてはと考えるが、如何か。

総合政策課長 今後、市民が市の未来に必要な事業、寄附者が応援したい事業の意見を聞く機会をつくることも考えている。

梅丸議員 ふるさと納税の体制・仕組みづくりについて市長のお考えを。

市長 ふるさと納税はまだ可能性があり、豊前市にとって大きな財政の柱になる。今後、議会の皆さんの知恵と応援をお願いする。

梅丸議員 未来の豊前市のためにも、地域外からお金を増やす手段として、ふるさと納税の増収を図り、お金の循環とノウハウの蓄積をお願いする。

# 市長の政治姿勢について



村上 勝二

**村上議員** 9月議会では、日本共産党京築議員団が、

安部元首相を礼賛する国葬に反対し、弔意の強制を行わないようにとの申し入れについて見解を伺った。市長は、豊前市として市長としてどう振舞うのか、政府から情報 came とき内容を見て決定したいと答弁した。9月28日付の新聞に、北九州・京築の13市町のうち6市町が国葬にあわせて庁舎などで半旗を掲げ弔意を示したという報道があった。国葬に同調するような行為はしないようにとの申し入れに反して、京築地区で唯一、半旗を掲げたことについて、その決定や経緯をお聞きしたい。

きな政治家の死が閣議決定され国葬となったと判断している。国のために殉死されたとは私は思う。その生き様を見て敬意を表して感謝の意を伝えるために、半旗を掲揚することが必要であると判断した。

**村上議員** 安部元首相への評価ということでも市長自身の判断だと受け止めたが、国論は二分し、国民の8割が国葬に反対したことを考慮したのか。県の指導もなかったと思うが、この判断はいかがなものか。国はすでに強行された国葬をめぐり、有識者から意見聴取する考えを明らかにした。まさにこれは歴史的な検証が必要だという認識で、国葬強行の問題は終わっていない。さらに、統一協会との関係が報道され、自民党との癒着があるからさまになっている。この組織は正体を隠して接触し取り入っているようだが、どんな方法で接してきたとしても、今後、統一協会という組織に対して、自らは一切関係を持たない

いと宣言できるのかお聞きしたい。

**市長** 私は、旧統一教会の方として接したことはない。相手が名乗らないで挨拶や名刺交換はあるかもしれないし、相手が確認できないこともあるので、宣言するかしないは言えない。旧統一教会の方とはつきり分ければ、私は距離を置く。

**村上議員** 統一協会による多額の献金被害の救済法案も可決するよう、市は被害者救済の相談窓口を設けるのかお伺いする。

**総務部長** 国も論議しているが、市民の方に被害があれば法律相談や消費者相談などへ引き継ぎ、何らかの救済ができないか、また相談に乗れないかを考えているところだ。

**村上議員** 信教の自由を理由に、多額の献金やマインドコントロールなどをする組織は、解散命令をしても当然で宗教団体とは言えない。その中で、市長の考えは大体理解できた。

# 市民参画の町づくりを



為藤 直美

**為藤議員** 学校再編計画に伴い、大きく変わる将来

像、豊前市全体のビジョンを見える化、持続可能をかけた計画づくりが、わが町に勢いをつけ、活性化に繋がるチャンスだと考える。また、人口減少、少子化の根源となる若者世代の環境を作ることが求められている。第6次豊前市総合計画の策定に当たり、広く市民の意見を募集しているが、パブリックコメントの取り組みについて伺いたい。

2期豊前市生涯学習推進基本計画案がある。

**為藤議員** 意見があった計画案について、募集の仕方、期間、対象者について伺いたい。

**生涯学習課長** 募集方法は、市報、市のホームページ、地元情報誌に掲載し、各地域づくり協議会やスポーツ協会、老人クラブ連合会、社会福祉協議会等、社会教育関係団体には直接文書で依頼、実施期間32日間で、対象者は市内住居及び市内通勤、在学している方、市内事業者及び教育関係団体である。

**為藤議員** どんな意見が何件あったのか伺いたい。

**生涯学習課長** 結果は、37件で、うち6件を反映した。文字の大きさの変換や文言の言い回し、語句の修正、文章や図解による説明が明確になるように改善を行った。

**為藤議員** 目安箱の集約状況について伺いたい。

**総務課長** 市役所、各公民館と市内16箇所を設置し、毎月末に回収している。令和元年度46件、令和2年度43件、令和3年度50件という状況である。

令和元年度46件、令和2年度43件、令和3年度50件という状況である。

**為藤議員** パブリックコメントやメール、目安箱以外に意見や要望を伝える方法はあるのか。

**総合政策課長** 市民の声を聴く機会として、市政懇談会やホームページでの問い合わせ等がある。

**為藤議員** 目安箱の内容や対応について、伺いたい。

**総務課長** 意見の対応については市長及び所属長が一つ一つ目を通し、差出人に回答をしている。また、内容については、施策、事業、職員への対応、市道、公共施設、苦情、要望等、様々で多岐にわたっている。

**為藤議員** 地域との連携が必要とされるなかで、特に若者の意見にも耳を傾けて頂きたい。



# 一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

## 『平成会』の一般質問



福井 昌文



黒江 哲文



秋成 英人



鎌田 晃二



平田 精一



内丸 伸一

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。

※ 文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。

詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご覧ください。

市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

### 【質問項目】

(秋成英人議員)

① 英語教育

② 定住促進

③ こども基本法

④ 男性用トイレ(サニタリーボックス)

(福井昌文議員)

⑤ 行政経営

(内丸伸一議員)

⑥ 市民サービスと市の取り組み

(平田精一議員)

⑦ 人口減少に伴う諸問題

(鎌田晃二議員)

⑧ 学校教育における子どもの心のサポート

⑨ HPVワクチン定期接種化の対応

⑩ ゴミ問題

# 英語教育について

**秋成議員** 福岡県は昨年度から、高校生向けに米国立スタンフォード大学が開発・運営する英語による異文化理解教育プログラムを実施している。世界トップクラスの大学スタッフやゲストスピーカーによるディスカッションを中心とした英語によるオンライン講義で、無料で世界レベルの教育が受けられる。世界から選ばれる福岡県を実現するために、異文化を理解し多様な人々と通じ合い、福岡県の未来を担うグローバルな人材育成を目標としている。受講のハードルが高く、書類選考で30名を選定、英検2級以上が条件のため素晴らしい世界的な教育に触れるチャンスがあつても、エントリーすることが難しい。高校で英検2級を取得するには、小中学校での基礎をきちんと習得しておく必要があるが、例えば英検3級合格率何%といった目標を定めているのか、豊前市での英語教育について、お聞きする。

**教育長** これから育つ子どもたちは、ICTに関するスキルと議員ご指摘の英語力が必須になってくると考える。これまで国・県も中学校卒業時に英検何%と目標を示したことはないが、50%ぐらいの漠然とした目標値は存在していたように、市もこれを目指して指導に取り組み考え方は大事であると思う。市は、ALTや日本人英語講師、また小学校の英語専科を1名配置しており、この体制を生かして小学校の段階から英語活動等の支援をしている。今後、学校再編を進める中で、外国人の方と中学生がオンラインで直接会話できるような授業を導入できないか考えている。情報収集しているところである。

**秋成議員** 今後、ますます英語の必要性が高まる時代になるため、中学校卒業までに3級合格といった具体的な努力目標があるほうが、全国的な英語教育の底上げにつながるのではないかと。まずはスタートラ

インに立てるよう、チャンスがきたらすぐ挑戦できるように機会を作つてあげるのも大人の役割だと考える。市長の考えをお聞きする。

**市長** 日本を飛び出して、世界を相手に頑張る若い方の武器として英語力をつけることは、私たちの大きな責任である。語学は若いうちに耳を鍛え、小中学校でいろんな情報を入れることで一番効果がある。議員の考えを受け、積極的に取り組んでいきたい。

**秋成議員** 急速に発展したオンライン環境の中で、子どもたちが都会と変わらない教育プログラムの恩恵を受けることができない時代に入りました。豊前市としても、子どもたちの可能性を最大限に引き伸ばしてあげられるよう、サポートする体制を整えてもらいたい。



# 行政経営について

**福井議員** 行政は、市民目線に立つたサービスを提供することで、市民の満足度が向上するよう努めることが大切だと考える。その方策として豊前市総合計画があり、第5次後期基本計画に、地域生活の支援の充実、障がい者・障がい児の在宅生活を支援するため、在宅介護や短期入所、放課後等デイサービス、訪問の入浴、補装具、日常生活用具給付等のサービスの充実を図るとある。そこで現在のサービス内容を教えていただきたい。

**福祉課長** 居宅介護、短期入所、訪問入浴、日常生活用具の給付等を行っている。

**福井議員** 今年9月の台風14号では、豊前市内において停電が発生し、丸1日停電が続いたところもあった。市民の生活にとって丸1日停電が続けば非常に大きな影響が生じる。また、電源が必要な医療機器を常にご利用しなければならぬ方にとっては、命にかかわる問題となる。今

回のような停電が発生した場合の対応はどう考えているのか。

**福祉課長** 今回の停電では、人工呼吸器等を使用している家庭から相談があり、市で保有をしている蓄電池や発電機の貸し出しを行った。

**福井議員** 市が貸し出した携帯充電器は数時間しか持たなかったが、職員が交換等で速やかに対応してくれ本当に助かったとの話を聞いている。蓄電池や発電機を用意できない家庭では、停電の不安を抱えながら日々の生活を送らなければならない。そこで提案だが、電源を必要とする医療機器を常にご利用しなければならぬ方に対し、発電機の貸し出しや補助をしてはどうか。基本計画にも支援の充実がうたわれている。住民の生命を守るのには行政の責務であり、大変重要な取り組みではないかと思うが、執行部の考え方を。

**福祉課長** 発電機等は国の補助対象となっていない

が、県内でも複数の自治体が日常生活用具給付等事業の対象として独自の補助制度を設けており、市としても先行事例を参考に制度化に向けて検討を進めている。

**福井議員** 県内でも独自に支援を行っているところもあり、先ほども言ったが住民の生命を守るのには行政の責務であるので、ぜひ前向きな検討をお願いしたいと思うが、市長の考えを伺いたい。

**市長** 安心して過ごせる豊前にならないかと思っており、力を合わせて私たちも安心体制を築いていき、困った人たちが頼れる市役所になりたいと頑張っていくので、今後ともよろしくお願ひする。

**福井議員** 災害時には、我々もそうであるが誰もが不安になる。持病を持つ方、また医療機器に頼らなければならぬ方は、なおさらなことだと思つ。細やかな優しさが行政経営の原点につながると私は考えるので、ぜひ厚い手当をお願ひする。

# 市民サービスと市の取り組みについて

**内丸議員** 市民の生命を守るための活動について、お聞きする。SNSで、こ

とし9月18日の台風14号による停電により人工呼吸器を使っているお子さんの命の危険が出てきたため、市に対して発電機の購入もしくは助成を要望する署名活動を知った。医療器具には、予備電池がないものもあり、その方は市の職員の方に夜通し蓄電池を運んでもらい、難を逃れた。台風による停電に際し、市民の命を守るために奔走した市の職員の方々に敬意を表したい。医療器具が必要な方にとって、器具を動かす電力は生命線であり、必要不可欠なものである。台風などの災害で停電し、器具が動かなくなり、命に危険が迫ることが予想される事態に対し、市民の生命・財産を守るべき市役所として、何らかの対応をしなければならぬと思う。停電などで命を危険にさらされる方々に、市としてどのような対応策を考えているのか。

**福祉課長** 現在、補助制度等を整備している最中である。

**内丸議員** 医療用の精密機器に対応した発電機でないで使用できないというところもあり得るので、使用機器に対応した発電機の購入補助、もしくは貸与などを検討いただきたいが、いかがか。

**福祉課長** 精密機械などで、当然機器の適用とかも考える必要がある。購入時にそういった基準等を設けられるか、あるいは購入時の指示事項ということ、医療器具のメーカーとも相談するというかたちで、基準等も考えたい。

**内丸議員** ぜひ二度手間にならないよう、しっかりと相談しながらしていただきたい。

難病の患者を診察する医療施設は、豊前市にはなく、遠距離通院になっていると思われる。難病患者交通費助成制度を実施している自治体もあり、豊前市がまだその制度を実施していないのなら、導入して

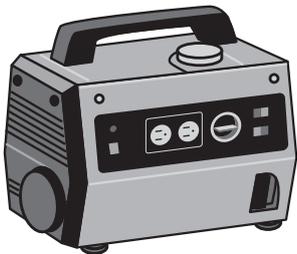
いただきたいと思います。いかがか。

**福祉課長** 医療費等の関係、難病の補助制度等の関係もあるかと思うが、十分精査したうえで、上司等とも相談しながら検討したい。

**内丸議員** 子どものことを思う親の気持ち、親、兄弟の命を思う家族の気持ちを考え、寄り添うことは必要なことだと思ふ。ぜひ豊前市も実施している自治体や中津市の実施内容を参考にし、より良い条件で取り組んでいただきたいが、いかがか。

**市長** よく状況を把握しながら研究していきたい。

**内丸議員** ぜひ市民の生命・財産を守るために、お願いしたい。



# 人口減少に伴う諸問題について

**平田議員** 人口減少に伴い、増え続ける空き家について伺う。豊前市は、空き家対策として早くから空

き家バンクを立ち上げ、全国的に見ても先駆者であるが、1年間で何件くらい空き家が発生しているか。

**生活環境課長** 毎年調査はしていないが、平成21年より2年かけて調査をした結果は、760件である。

**平田議員** 空き家をどういふふう利用していくか、専門業者と連携して対策をしたらどうかと思ふ。

**市長** よく状況を把握しながら研究していきたい。

**内丸議員** ぜひ市民の生命・財産を守るために、お願いしたい。

市長 公のものなら我々の判断でできるが、民間の財産であり、この理解が第一である。やる気のある方々

を民間の力というかたちでどう呼び込むか、大きな課題だが、チャレンジしていかなければと思っている。

**平田議員** 民間からいろんな知恵が出てくると思うので、ぜひ一緒にやっていただきたい。

次に人口減少で影響を受ける1次産業問題について伺う。兼業農家が耕作している中山間地域においては、人口減少、特に高齢化のため、耕作者が減少し、耕作者のいない農地が荒廃しているが、どのような対策をしていくのか。

**農林水産課長** 令和4年5月に農地経営基盤強化法等が改正され、令和5年から地域計画の策定へと移行することになっている。この地域計画では、従来の人・農地プランである地域農業の将来の在り方に加え、目標地図の素案を作成し、地域と話し合い、随時見直しを行いながら計画を作成していくことになっている。

**市長** 豊前市においても、既に人・農地プラン等の作成は行っており、今後、国の方針に

沿って地域計画の作成を進めていき、農地の有効な活用を図るとともに荒廃農地の発生防止等に努めたい。

**平田議員** 全国的に見ても有害鳥獣の被害が多く見られると思うが、その対策は。

**農林水産課長** 狩猟期以外の鹿・猪等の捕獲事業、地域の要望を受けて農地の周囲に侵入防止の防護柵を張るなどの対策を行っている。

**平田議員** ジビエセンターの運営は、順調か。

**農林水産課長** 運営のほうは、なかなか利益が出るのは難しいところではあるが、なんとか運営を続けていくような状況である。

**平田議員** 相手が動物なので、自由にいかないと思うが、しっかりとやっていただきたい。



# HPVワクチン定期接種化の対応について

**鎌田議員** 子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス、HPVへの感染を原因とするがんである。性的接触によって発がんに関わる種類のウイルスに感染した場合、その一部が子宮頸がんにつながる。日本では、小学6年生から高校1年生までの女子が定期接種の対象となっており、無料で接種を受けることができる。しかし、接種後の体調不良に関する報道により、厚生労働省が積極的な接種勧奨を中止したため、8割近くだった接種率も1%を切る水準まで低下している。日本では、年間約1万人の女性が罹患し、約2900人が死亡しており、罹患者の若年化も進んでいる。そこでこの定期接種の対応について、定期接種対象者等への周知はどのように行ったのか。また、接種率の現状も教えてください。

**健康長寿推進課長** 国より令和4年4月以降、子宮頸がんワクチンの接種勧奨再開の通知があり、定期接

種対象者等に対してお知らせ等を発送し、接種勧奨を進めた。また、今年度の接種率は全体で6.8%となっている。

**鎌田議員** 接種勧奨が中止されていた8年間の間に、自費で接種を受けた方は申請すれば払い戻しができるが、こういったケースはあったのか。

**健康長寿推進課長** 問合せ等はないが、現在、還付に必要な要綱を作成しており、今後予算化した。

**鎌田議員** 払い戻しについて、しっかり周知してもらいたい。また、厚生労働省が新たに9価HPVワクチンを来年の4月以降、早い時期から定期接種すると方針を決めた。このワクチンは、9種類のウイルスの感染を防ぐことができ、子宮頸がんにかかる割合を減らすことが期待されている。また、世界的にも認められており、80カ国以上で承認を受け、35カ国以上で導入されている。前のワクチンと比べ90%近くが予防でき、他のがんや

性感染症等への予防効果が期待されているというすごいHPVワクチンであるが、接種には高額な費用がかかる。費用を助成している自治体もあるが、この9価ワクチンの接種について、どのような周知を考えているのか。

**健康長寿推進課長** 国から通知があれば、市報やホームページ等でお知らせしたい。

**鎌田議員** 現在の接種率がまだ低いことを勘案すると、この9価ワクチンの接種を見合わせている方がたくさんいると思う。そうした方々にとって、このワクチンが定期接種で使用可能となること、その有効性や安全性などの情報は、接種を検討するうえで重要になる。来年から始まる9価ワクチンの接種について、事前に情報を整理したうえで、郵送による迅速かつ確実な周知を要望する。

## 他議会からの視察受入れ報告

豊前市議会では、市の事例を紹介し、それぞれの自治体で活かしてもらえればと思い、できる限り視察研修の受入れを行っております。令和4年の受入れ状況は、以下のとおりです。

令和4年10月25日	山形県尾花沢市	総務文教常任委員会	9人	移住定住の取り組み 空き家バンク・山内のいえ(お試し居住)
令和4年10月26日	三重県四日市市	政友クラブ	1人	老朽危険家屋等除却促進事業
令和4年11月 8日	山梨県富士吉田市	市民ファースト	4人	老朽危険家屋等除却促進事業
令和4年11月 9日	東京都台東区	保健福祉委員会	11人	在宅口腔ケア事業
令和4年11月10日	香川県善通寺市	総務常任委員会	7人	市バス

## 職場体験で議長訪問



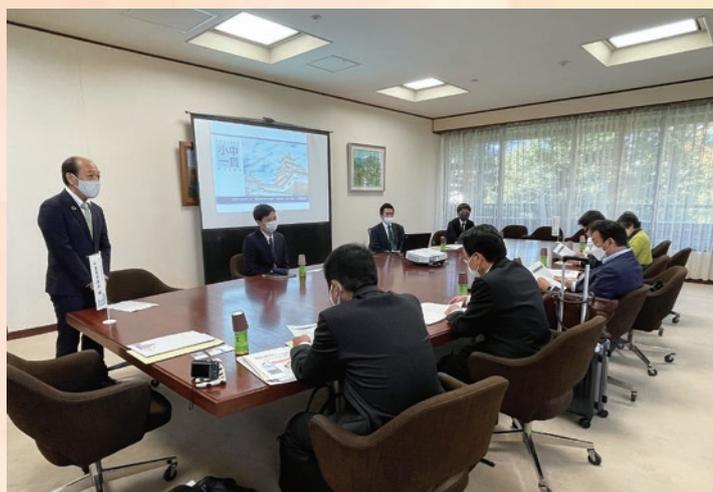
令和4年11月15日に合岩中学校2年生の岡村大輝さんが、農業委員会の仕事を体験するため、議長室を訪れました。尾澤議長より将来の目標について尋ねられたところ、岡村さんからは「この豊前市役所で働くことを強く希望している。」との返答がありました。将来がとても楽しみです。

# 訃報

去る12月1日、爪丸裕和議員がご逝去されました。爪丸議員は、平成12年4月から6期22年余にわたり市議会議員として活躍されました。この間、第29代市議会議長をはじめ産業建設委員会委員長、予算決算委員会委員長などの要職を務め、円滑な議会運営を図ってこられました。さらに、一部事務組合では、豊前市外二町清掃施設組合議長や京築広域市町村圏事務組合などの議会議員を務められ、京築や豊前築上の広域行政に対しても真摯に取り組み、市政発展に尽力されました。謹んで、ご冥福をお祈りいたします。



## 文教厚生委員会の視察研修



姫路市役所の研修の様子

文教厚生委員会は、令和4年10月19日～20日の日程で視察研修を行いました。

岡山市役所では、「在宅介護」に焦点を当てた総合特区「AAAシティおかやま」について事業内容や成果等の説明を受け、意見交換を行いました。

また、姫路市役所では、小中一貫校・義務教育学校について導入した経緯や現場の状況等の説明を受けました。現在、豊前市も学校再編計画が進められており、先行自治体の状況を知ることができ、有意義な研修となりました。

## 編集後記

2023年は「癸(みずのと)卯(う)」の年です。兎には跳ねる特徴があるため、景気が上向きに跳ねる、回復すると言われており、株式市場にとっては縁起の良い年として知られ、また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

「卯」はもともと「茂」という字が由来といわれ「春の訪れを感じる」という意味、また、「卯」という字の形が「門が開いている様子」を連想させることから「冬の門が開き、飛び出る」という意味があると言われています。2023年の卯年は、今までの数年間から大きく「飛躍」し、私たちの生活が大きく「向上」する年になって欲しいものです。

そして2月4日は「立春」です。「立春」は元々、一年の始まりであり、おめでたい日です。まだまだ寒い時期ではありますが、「立春」を越えれば春はもうすぐそこまで。2023年は、行事に参加したり、縁起の良い食べ物を食べたりして、楽しく「立春」を迎えませんか？

梅丸 晃

次回の定例市議会は  
**3月**です

新型コロナウイルス感染症の予防及び感染拡大防止のため、傍聴については、状況によりご遠慮いただく場合がありますので、詳しくは議会事務局へお問合せください。本会議については、インターネット中継しております。

豊前市議会  検索

編集 編集委員会  
委員長：梅丸晃  
副委員長：為藤直美  
委員：村上勝二 郡司掛八千代  
秋成英人

印刷 築上印刷有限会社